



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



## 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 着任式・始業式を実施

4月10日(月)、令和5年度の教育活動がスタートしました。

午前中は2・3年生が、約2週間ぶりに登校しました。新学年の教室に入り、各学年団の先生と対面しました。



校長の話を聴く生徒

着任式で校長をはじめ、新たに着任した教職員を迎え入れた後、始業式では学習・生活・進路担当の教員よりそれぞれ、高校生活について説明しました。



集中して話を聴く生徒



4月は、子どもたちの確かな学力の向上を図る「北海道学び推進月間」です。

## 新しく着任した教職員

- 1 福本正規(ふくもと まさのり)校長  
倶知安町にある後志教育局から着任
- 2 桐生俊也(きりゅう としや)事務長  
札幌市にある有朋高校から着任
- 3 昆公成(こん きみなり)教諭  
本別高校から着任。3学年、英語、生徒会
- 4 原田浩二(はらだ こうじ)教諭  
帯広三条高校から着任。2学年、国語、教務部
- 5 半澤修(はんざわ おさむ)教諭  
中札内高等養護学校から着任。地理歴史・公民、2学年副担任、生徒指導部
- 6 林昭宏(はやし ひろあき)教諭  
留萌教育局から着任。1学年、理科、教務部長
- 7 高山華奈江(たかやま かなえ)教諭  
中札内高等養護学校から着任。数学、3学年、教務部
- 8 増田尚将(ますだ たかまさ)教諭  
新しく教諭として採用。保健体育、1学年副担任、教務部

## 入学式挙行

4月10日(月)午後、酒森町長ほか御来賓の方々と保護者の見守る中、本校体育館において、ほどよい緊張感の中、入学式が挙行されました。33名の新入生が体育館へ入場し、一人ずつ担任の大寺教諭から呼名をされると、元気な返事を返していました。

代表生徒の坪さんの宣誓は、落ちついた立派なものでした。

入学式の終了後、校歌や学年団の先生方の紹介があり、最後に体育館で記念撮影を行いました。



呼名され起立する生徒



宣誓する坪さん



新入生の入学記念写真

## 生徒会主催でオリエンテーション・新入生歓迎会を実施

4月11日午後、生徒会主催の新入生オリエンテーションと生徒会主催の全校生徒による「新入生歓迎会」を開催しました。前日の入学式から緊張の連続である新入生を少しでも和らげてあげよう、そんな先輩達の気遣いが感じられる行事となりました。新入生オリエンテーションでは、大樹高校のルールや学校行事などについてスライドを用いて説明。特に学校祭は、「実行委員会」を組織して行うので、ぜひメンバーになってくださいと呼びかけがありました。引き続き、全校生徒が体育館に集まり「新入生歓迎会」を実施。部活動紹介や教職員紹介、更には大樹高校生徒会がスマホの正しい使い方について定めている「スマホ8箇条」の説明と続けました。最後は、新入生代表の野村さんの立派な挨拶で終わりました。



バレー部の紹介の様子



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



## 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 春季大会が実施

4月22日(土)、23日(日)、高校でPTA総会や公開授業が行われていましたが、バレー部とバドミントン部の春季大会が行われ、本校の生徒が参加してきました。得点し喜ぶ部員たち



1日目、帯広農業高校、白樺高校に敗れましたが、2日目、芽室高校に2-0で勝利しました。本校生徒だけのチームで参加できたのが昨年度からであり、セットカウントをとったことは初めてとのことでした。監督によると、勝利した直後は、勝利を実感できていない様子だったとのことでした。

バドミントン部は、青木・藤原組が3回戦、工藤・播間組が2回戦に進出しました。

## PTA総会実施

4月22日(土)、PTA総会が体育館で行われました。PTA総会では、役員をはじめ保護者の方に来校していただき、今年度の活動計画などについて審議を行いました。



黒澤PTA会長挨拶

3年間本校のPTA活動に尽力され、今回で退任となる黒澤PTAから、3年間のコロナ禍における活動の難しさや、コロナ禍においてもzoomを活用した学校祭の取組、今年度の活動への期待の話がありました。

昨年度の予算、決算報告、活動報告  
今年度の予算、活動の予定、役員について、審議し、承認されました。

## インターステラテクノロジズ社来校

4月13日、インターステラテクノロジズ株式会社(以下、IST)様より会社の創設10周年を記念して、ロケットをデザインしたクリアファイルや会社のステッカー等をいただきました。



生徒会長上田さんとISTさん金井さん

さらに、全校生徒に向けた「ご入学・ご進級おめでとうございます」ではじまるメッセージも添えられていました。そこには、ロケット制作にかける熱い思いや、大樹町への感謝の気持ちが綴られており、最後にはこの大樹高校で学ぶ私達にエールを送っていただきました。

これらの贈り物は、生徒を代表して生徒会長が受け取りました。いただいたメッセージと共に大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## <令和5年度PTA役員>

- PTA会長: 播間 淑晃 様(3年)
- PTA副会長: 山崎 俊 様(2年)
- 鈴木 和昭 様(1年)
- 福本 正規 (校長)
- PTA会計: 櫻井健一郎 様(1年)
- 桐生 俊也 (事務長)
- PTA監査: 豊田 雅人 様(2年)
- : 遠藤 恵子 様(2年)

土曜日にもかかわらず、小さいお子様と御一緒に参加した方もおり、保護者の皆様、ありがとうございました。



PTA総会の様子

## 公開授業を実施

4月22日(土)のPTA総会后、公開授業として、1年生「化学基礎」、2年生「地理総合」、3年生「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業を公開しました。

生徒は、教室で行うことができる簡単な実験や、海外の偉人に関する動画の視聴などに意欲的に取り組んでいました。1年生では教室に入り切らないほど多くの保護者の参観がありました。参観、誠にありがとうございました。



1年生「化学基礎」の様子



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 生徒総会開催

4月26日、令和5年度前期生徒総会が開催されました。3年生を中心とした生徒会執行部、各委員長によって新年度計画の提案がありました。その中で「より良い活動にする」という提案に対して、「どのような活動を考えているのか具体的に教えてほしい」といった建設的な質問がだされ、大樹高校をより良い学校にしたいという積極性、自主性がうかがえました。また、総会資料はデータで配信し、生徒はそれぞれのタブレット(大樹町から貸与されているもの)で確認しながら総会に臨んでいました。時代を反映し、環境に優しい生徒会の取組でした。



質問する生徒

## 交通安全教室・防犯教室実施

5月9日、広尾警察署の方々をお招きして、交通安全及び防犯集会を行いました。前半は自転車による事故についての講話、後半は防犯のための護身術を教わりました。

前半の講話によると、自転車事故による死傷者数は中高生に多く、その中でも16歳が1番多いのだそうです。更に月別に見ると、緊張感のある4月よりも、慣れが出てくる5月以降に増えるそうです。出会い頭の衝突は、命の危険が高まるお話もありました。「自転車に乗ったらヘルメット」を一人一人が意識できることを願います。

後半は、護身術を教えていただき、実際に練習をしました。慣れないことなので上手いかず苦戦する様子もありましたが、一度でもやっておくことで自身の安全を護る意識が高まるための大切な内容で、貴重な時間となりました。最後は、生徒会長による「交通安全宣言」で終了しました。広尾警察署の方々、大変ありがとうございました。



「自転車に乗ったらヘルメットを！」警察官から、護身術を教わる生徒の講話



護身術の実践練習中の生徒

## 壮行会を開催

5月15日の6時間目、5月18日から始まる高体連の十勝支部大会におけた壮行会が開かれました。本校生徒は、今大会に、バドミントン、女子バレーボール、陸上の3つの競技に出場します。3年生にとっては最後の大会です。各部活動の決意表明の中にも、そこに賭ける強い気持ちが表れていました。また、1年生にとっては入学後初めての大きな大会となりますが、精一杯力を発揮するという頼もしい言葉もありました。主将3人による選手宣誓の後、生徒会長、校長からの激励の言葉がありました。

怪我をしないように体調管理をしっかりとし、本番では最高のパフォーマンスを発揮できるよう、全校挙げて応援しています!



各部主将による選手宣誓



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 子育てボランティア団体「ハッピーライフ」のお母さんたちとの座談会を実施

5月15日、科目「子どもの発達と保育」の授業で座談会を実施しました。今回は、『大樹町子育て応援手帳』が発行されたことを受け、その原案をまとめた子育てボランティア団体「ハッピーライフ」の会員の方、冊子の編集を手掛けた長谷川さん、デザインを担当した橋原さんにお越しいただきました。

知らない土地で子育てをする時に感じる孤独感や不安感をなくし、みんなが楽しく子育てできるまちづくりに思いを寄せて、この冊子が出来上がったお話しは、とても心に響きました。

そんな熱い思いを聞いた生徒達からも、素直でしっかりとした感想が述べられ、地域の子育て支援と課題について考えるきっかけとなりました。保育士を目指す生徒、やがては親となる生徒、地域を支える大人になっていく生徒、立場は色々ありますが、今日のお話を胸に留め社会で活躍してほしいと願います。



## 2学年で「コミュニケーション・スキル・トレーニング」を実施

5月23日の5時間目と6時間目に、2学年で「コミュニケーション・スキル・トレーニング」を実施しました。

「お題に合わせて素速く並ぼう！」

「背の順」や「名前の五十音順」など、お題に合わせて制限時間内を目指して整列します。仲間同士で確認し合い、ウォーミングアップ完了です。

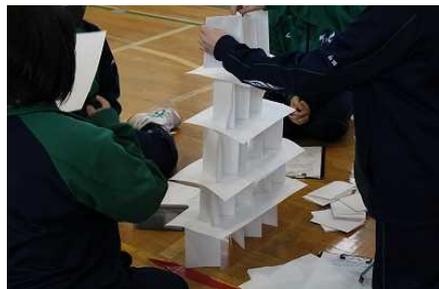
「ジェスチャーしりとり！」

言葉を使わずに、ジェスチャーやイラストだけで、相手に気持ちを伝えます。必死になってお互いの伝えたいことを理解しようとする姿や、手助けをしながら活動を進める姿が素晴らしかったです。

「ペーパータワーチャレンジ！」

10分の中で、紙をどこまで高く積み上げられるかチャレンジです。チーム毎に役割分担や作戦を決めてよいスタート！

5グループとも、まったく違うアイデアで、ペーパータワーを完成させていました。一番高かったチームは180cm!がんばりました!





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 全ての学年でコミュニケーション・スキル・トレーニングを実施しました

大樹高校では、望ましい人間関係の構築をねらいとしてコミュニケーションスキルトレーニング(CST)を取り入れています。全体では、各学年ごとに年2回の実施を計画しています。

1回目の実施が終了しました(1学年5月29日/2学年5月23日/3学年5月31日)。学年ごとに目標が設定され、身に付けてほしいスキルを具体的に、プログラムを立てていきます。生徒は、与えられた課題に対して自分の意見を持ち、正しく相手に伝え、また相手の意見にも丁寧に耳を傾け、相談しベストな解答を導き出していきます。共生社会を支える人材の育成として大切にしている取組の1つです。

【1年生】



自分自身に心を向けることについて学びました



1学年の目標「発想や価値観が異なる人たちとどう合意形成をしていくか」についてスクールカウンセラーからのお話を聴きました。

【2年生】



【3年生】



与えられた課題に対する自分の意見を、どう相手に伝えるか、相手の思いをどう受け止めるか積極的に取り組む姿がありました。



自分の言動が周りに与える印象と影響に配慮して伝えるために必要なことを考えました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 校内研修を実施しました

6月7日に、今年度、1時間以上の時間を確保し、第1回の校内研修会を実施しました。

今年度、北海道教育委員会の「生徒理解支援ツール『ほっと』」を導入したことから、今後の活用について研修することにしました。

今回は、講師として北海道医療大学心理学部の富家直明先生にお願いし、「生徒理解支援ツール『ほっと』の活用から、生徒個々のコミュニケーションスキルをどう高めるか、どのような視点を持って支援をするか」について御講話をいただきました。

高校を卒業後は、約半数の生徒がすぐに社会人として働き始めます。そこで求められる大切な力として「コミュニケーション力」があげられます。大樹高校ではこのスキルアップのための「コミュニケーションスキルトレーニング」の実施や、教育相談を計画的に行っています。

今回御講話いただきました内容を、また今後の教育活動に生かしながら、大樹高校全体が安心して楽しく充実した生活を送ることができるよう「チーム大樹」で取り組んでいきます。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 食の国際交流を実施しました

6月8日、14日、3年生選択科目「フードデザイン」において、ALTとして来校されているアニーさん(英国出身)と食(食文化)をテーマに交流しました。

1回目(8日)は、生徒からアニーさんへのプレゼンテーションを行いました。5グループに分かれて、日本の料理(郷土料理、和菓子など)、食事作法、文化、大樹町のことや大樹高校のこと、学校給食のこと、そしておもしろかったのは方言(北海道弁)まで、アニーさんにたっぷり日本の良さ、おもしろさを紹介しました。



交流2回目(14日)は、アニーさんから英国の食文化について講話をいただき、その後調理実習を行いました。英国スタイルの料理やそれにまつわる歴史など、盛りだくさんの内容を英語で説明していただきました。生徒は、英語でのスピーチに真剣に耳を傾けていました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



## 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 進路強化研修を実施しました

6月26日(月)に3年生を対象に進路強化研修を実施しました。

進路強化研修は、3年生23名が「大学・看護」「短大・専門学校」「就職」の3つのコースに分かれ、自身の進路について1日かけて集中的に探究することで、今後の進路活動をより充実させるための取組です。

大学・看護コースは、午前は模試等を活用した勉強方法とスケジュールリングについての講話を聞き、実際に夏休みまでの学習計画を作成しました。自身の課題を明確化し、どう解決するかを具体的に考えることができました。

短大・専門学校コースは、午前は小論文や一般常識問題の対策を行った後、面接で高評価を得るための講話を聞きました。

午後は生徒どうしで面接官役と受験生役に分かれて模擬面接を実施しました。面接官の視点で考えることで、望ましい所作や受け答えについて理解を深めることができました。



就職コースは、午前は町内企業にご協力いただき、模擬面接を行いました。

午後は帯広市内で行われた合同企業交流会に参加し、複数の企業の方のお話を聞き企業理解を深めることが出来ました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



### 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 大高祭を実施しました

7月7日(金)に校内のプレイベント、7月8日(土)、9日(日)の2日間の晴天のもと、学校祭テーマを「爽～keep smiling～」として、大高祭を実施しました。プレイベントでは、教員のバンド演奏。1日目は、体育館までの廊下に、書道や創作物、探究活動でのポスター、体育館に各クラスで作成した垂れ幕を展示しました。体育館でが吹奏楽部の演奏、学校祭実行委員企画である、学校全てを活用して、3つの学年でグループごとにクイズを解いて明かされるヒントをもとに宝を探す「謎解いて時間内に戻ってきたいんやでえ」を行いました。

2日目は、PTA、保護者、学校運営協議会の方々も来校いただき、クラスの動画、クラスパフォーマンスを披露した後、各クラスの教室で縁日やフオスポット、飲み物販売のクラス企画が実施されました。その後、保護者などへの公開終了後、体育館において、有志の発表で歌やダンスが披露されました。

学校祭実行委員を中心として、会場を盛り上げるなど、普段とは異なる生徒の姿が見られました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



## 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 探究成果発表会を実施しました

7月19日(水)10:05~11:50、本校体育館において、3年生が「総合的な探究の時間」で見たり聞いたりして調査した内容をもとに、自分の考えの変化や未来への提案などについて発表しました。

当日は、黒川町長、全ての大樹町議会議員、大樹町役場、大樹町教育委員、探究活動で協力いただいた企業、保護者の方々などにも来校いただき実施することができました。

高校生の目線から、各グループの調査や思考の変遷などが発表され、非常に面白い内容となっていました。

来校の方々には、それぞれの発表について、よかったところや改善すべきことの記載に協力いただきました。

生徒は、それぞれのタブレットから、意見や感想を記入しました。

今回の取組は、10月に実施予定の大樹町議会と連携して実施する高校生議会につながる予定です。

### 発表者と発表内容

1. スポーツで大樹町を発展させたい 発表者：青木 悠斗

若者が楽しめるスポーツ施設を作りたいという思いからスタート。活動を進めるうちに今あるスポーツ施設をもっと使ってほしいと思うように。みんなが楽しめるスポーツイベントの企画を検討しました。

2. SNSで大樹町を発展させるには？ 発表者：工藤 京輔・村木 陸

大樹町の観光PRをテーマに活動。他の市町村のSNS発信などの事例収集や、大樹町のおすすめスポットを調査。タクシーの運転手がおすすめするスポットなども聞き、おすすめのスライドプロコースもまとめました。

3. 大樹町の食を全国的に広める 発表者：上田 瑞姫・鎌田 心菜・松田 玲奈

大樹町の食、特に酪農をテーマに魅力を伝えることをテーマに活動。実際に町内の牧場を訪れ、その牧場の食材を使った新商品の開発にチャレンジしました。

4. 大樹町の特産品とは？ 発表者：千葉 弥生・廣瀬 芹菜

大樹町の特産品を多くの人に知ってもらうことをテーマに活動。町内でアンケートをとり、大樹町といえばの特産品を調査。道の駅で知ってもらうためのPOP制作に取り組みました。

5. 子どもたちの室内の遊び場 発表者：荒城 菜大・加藤 拓磨・杉村 柊太

子育て世代が集まれる室内の遊び場をテーマに活動。実際に子育て世代のお母さんたちに意見を聞き、町の担当者や意見交換を実施。今後、町の動きとして実現できることや課題についてまとめました。

6. 集まって遊ぼうぜ！集まるってどこに？ 発表者：道見 篤・蒲田 悠哉・藤原 秀典

中高生が町内で集まれる場所づくりについて活動。中高生が普段集まる場所のアンケートをとり、ニーズを調査。主にコスモールの活用について自分達のアイデアをまとめ、提案にいききました。

7. 中高生が集まる交流場所をつくる 発表者：上野 千夏・大木 愛菜・加藤 鈴音・木戸 稚穂

高校生が町内で集まれる場所づくりについて活動。町内のカフェや、コワーキングスペースなどを見学に行き、高校生が集まるうえでそれぞれの場所のメリットやデメリットについて整理しました。

8. 大樹の海の問題を知っていますか？ 発表者：小川 瑚乃花・鈴木 瑠清

大樹町の赤潮の被害をテーマに活動。漁業組合の方にお話しを聞き、自分達にできることを考えました。海の問題を知ってもらうため、ポスターを制作。より多くの人に海のことを知ってもらう方法を提案します。

9. 歩きやすい道をつくるためには？ 発表者：木村 心平・瀧名 佳奈・星久保 友里華

みんなが歩きやすい道をつくる、をテーマに活動。町内の道路を管理している方にお話しを聞き、課題を整理。主に小学生や中学生が通る通学路について実際に歩いて危険マップを作成しました。



**TAIKI HIGH SCHOOL**

## 探究成果発表会

7/19 (水)

この発表会は、

1. 大樹町をより魅力的にするために、大樹町をPRするための活動、2. SNSで大樹町を発展させるには？、3. 大樹町の食を全国的に広める、4. 大樹町の特産品とは？、5. 子どもたちの室内の遊び場、6. 集まって遊ぼうぜ！集まるってどこに？、7. 中高生が集まる交流場所をつくる、8. 大樹の海の問題を知っていますか？、9. 歩きやすい道をつくるためには？

10:05-10:50 11:00-11:55

1. スポーツで大樹町を発展させたい  
2. SNSで大樹町を発展させるには？  
3. 大樹町の食を全国的に広める  
4. 大樹町の特産品とは？

11:00-11:55  
5. 子どもたちの室内の遊び場  
6. 集まって遊ぼうぜ！集まるってどこに？  
7. 中高生が集まる交流場所をつくる  
8. 大樹の海の問題を知っていますか？  
9. 歩きやすい道をつくるためには？

日時：7月19日(水)  
9:45 開場  
10:00 発表発表会スタート  
12:00 終了予定

会場：大樹高校 体育館

※当日は、大樹町長、黒川町長、大樹町議会議員、大樹町役場、大樹町教育委員、保護者の方々などにも来校いただき実施することができました。



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 生と性に関する講演会を実施しました

8月24日、生と性に関する講演会「多様な性を知ろう・考えよう」を実施しました。講師として、にじいろほっかいどう事務局長の真田陽氏をお招きしました。真田氏は、小学校教員として働いており、自らもトランスジェンダー当事者として、自身の経験に基づいて多様な性についてお話しをしてくださいました。

この学習を通して、人には様々な違いがあることを知り、自分と他者で「ちがうこと」「おなじこと」は何かを考えることができました。多様性を尊重し、一人一人が幸せに生きることができる社会の実現のために何が必要なのかを、それぞれが深く考えるきっかけとなった大変貴重な講演会となりました。



## オープンハイスクールを実施しました

8月30日(水)に南十勝の中学生・保護者・中学校教員を対象に、オープンハイスクール(1日体験入学)を実施し、おおよそ100名の参加がありました。

学校説明では、学校長から来年度からはじまる新学科について、また、生徒から行事部活動、学習、進路活動等について説明しました。

生徒一人ひとりを大切にし、個々の進路希望に応じて熱心に指導するという大樹高校の取り組みが、多くの来校者に伝わったと思います。また、授業見学や体験授業をとおして、大樹高校の雰囲気や魅力を感じ取っていただけたと思います。

今年度のオープンハイスクールは終了しましたが、「授業を見学したい」「大樹高校の取り組みが知りたい」という中学校関係者の方がおりましたら、本校教頭までご相談ください。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 2学年就職ガイダンスを実施しました

9月5日、2学年で「就職ガイダンス」を実施しました。

「社会人に求められるスキルは何か?」「自分のアピールポイントはどんなところ?」など、キャリアデザインをテーマに、自分自身の将来と向き合う、大変充実した時間となりました。

授業の最後には、仲間とペアを作ってミニ面接練習を実施し、話す側も聞く側も、表情や作法に気をつけながら活動しました。

9月7日には体験型進路ガイダンスが予定されています。さまざまな視点から学び、たくさん迷いながら自分自身の可能性を広げていってほしいと思います。



## 「ふまねっと」体験学習

9月6日(水)、2年生選択科目「生活と福祉」の授業で、大樹町社会福祉協議会で介護予防教室の一つとして実施している「ふまねっと」に生徒が参加し、体験学習を行いました。普段、高齢者の方と接する機会が少ない生徒たちが、これまでほとんど経験のない「ふまねっと」(北海道教育大学釧路校で開発された50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動のこと)を通して、交流・体験をしました。

戸惑いながら、照れながら、サポーターの方の説明を聞いて一生懸命ステップを踏む生徒たち。高齢者の方は、高校生から若いエネルギーをもらい、高校生は、高齢者の方々から人生の積み重ねの大切さを教わりました。お互いに、良いエネルギーを与え合うことができたとても充実した時間となりました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 災害と食事について学習しました

9月は、防災について日々の生活を点検する月です。関東大震災から100年、胆振東部地震から5年が過ぎました。辛く悲しい大災害の教訓を生かして、備える必要があります。

そこで、3年生選択科目「フードデザイン」では、災害と食事について学習します。日頃からどのような備えが必要かを学び、最も大切なのは使い慣れておく、食べ慣れておくことですので、災害時を想定した調理実習を行います。今回は、カセットコンロとポリ袋でできるメニュー「親子丼・みそ汁」を作りました。常備食材からとても簡単に、しかも美味しくできる料理に、生徒達は大きく関心を寄せていました。「とても大切な勉強だ!」と、1人暮らしを数ヶ月後に控えた3年生は、学習内容を自分事として捉え、多くを学んでいたようです。



## 体験型進路ガイダンスを実施しました

9月7日、1・2学年を対象に、大樹町生涯学習センターにて「体験型進路ガイダンス」を実施しました。

およそ30の各種専門学校を招き、ブースに分かれて仕事に関する説明を聞き、体験する機会となりました。時間の関係で生徒1人につき2つのブースしかまわることができませんでしたが、それぞれ積極的にメモを取ったり、実習に集中したりしている姿が印象的でした。今回感じたことや学んだことを、今後進路を考える際のよい材料にしてほしいと思います。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和5年度の指導上の重点目標】  
1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。  
2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 台湾見学旅行に向けて「たいわんDAY」を実施しました

2学年は、10月17日から台湾への見学旅行を予定しています。

9月15日は、1時間目～6時間目を通じて、台湾に関する理解を深める授業をたくさん盛り込んだ「たいわんDAY」を実施しました。

1・2時間目 「地歴・公民×台湾」



台湾の歴史や経済、地理・・・私達の行く場所は、どんな場所なのでしょう。最初の2時間は「土地を知る」ことからスタートしました。

3時間目 「生物×台湾」



台湾スイーツ「愛玉子」。どうしてゼリーのように固まるのか? 「固まる」を科学的視点で捉えることをテーマにグループワークと実験を行いました。

4時間目 「音楽×台湾」



世界の共通言語、音楽。台湾の歌「望春風」を、現地の言葉で歌ってみました。

5時間目 「LHR①」



台湾で、お世話にならる予定の日に、義守大学の紹介が会  
の学交流と主眼が、上のが  
学生と、と、グール、一、毎、の、才、守、大  
イ、交、と、を、実、施、し、ま、し、た。最、初、は、自、合、り、る  
ン、ま、ど、い、な、が、一、つ、己、の、紹、介、話、が、盛、り、盛、る  
と、研、修、の、そ、れ、ぞ、れ、の、グ、ル、一、日、も、会、え、る  
主、眼、が、あ、つ、て、い、ま、す。当、日、の、交、流、会、は、大、変、に、お、も、た、い、な、さ、い、ま、す。



6時間目 「LHR②」

最後の時間は、義守大学との交流会の企画を考えました。日本の文化を体感して貰えるような、素敵な企画ができますように。



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



### 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 台湾見学旅行に向けて「たいわんDAY」の2回目を実施しました

9月26日、2学年の10月17日から実施予定の台湾への見学旅行に向けて、2時間目～6時間目を通じて、台湾に関する理解を深める授業をたくさん盛り込んだ「たいわんDAY」の2回目を実施しました。

### 2時間目 「英語×台湾」



大樹町ALTのキアンティさんと、「入国審査」のシュミレーションをしました。ペアになり、質問される内容や答え方を確認し、実際に声に出してみます。当日きちんと入国できるでしょうか学びを生かして欲しいです。

### 3・4時間目 「調理実習×台湾」



台湾の代表的な料理の一つである「ルーフン」。帯広調理師専門学校から講師の先生をお呼びして、調理にチャレンジしました。独特な香り、辛料、香辛料、「五香粉」をまぶしていただけす！美味しいと大好評でした。本場の味が今から楽しみですね。

### 5・6時間目 「LHR×台湾」



現地でお世話になる大学生に向けて、お土産づくりを行いました。内容は、お菓子のパッケージなどをリメイクしたストラップや、しおりです。本来であれば捨てられてしまう素材ですが、かわいい印刷も多く、日本を感じてもらえる表示がたくさん…。心をこめて作成しました。



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



### 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 外部講師を招き高齢者について学びました

1年生の「家庭基礎」で高齢者について学習しています。今回は外部講師による授業の様子をお伝えします。

9月25日(月)、大樹町役場保健福祉課より講師をお招きして「認知症サポーター養成講座」を開催しました。認知症の特徴や関わり方などについてお話しを聞きました。



また、9月27日(水)、帯広コア専門学校介護福祉科専任講師をお招きして、介護のポイントと実習を行いました。



講師の方々には、限られた時間の中で、生徒に体験的な学びも交えて、講話をいただきました。ありがとうございます。  
共生社会につながるとても重要な学びになりました。

### 講師の方からのメッセージ

生まれてから死を迎えるまでに、福祉を必要としない人はいません。あなたが困ったときには、かならず支えてくれる人がいます。一人で悩まずに誰かを頼ろうね。



# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 合唱祭を実施しました

10月6日、大樹町生涯学習センターのコスモスホール（大ホール）にて、大樹高校の学校行事である「合唱祭」を実施しました。

課題曲として「瑠璃色の地球」、自由曲として各学年で選択した合唱曲を披露しました。それぞれの学年で試行錯誤しながら練習を重ね、素晴らしい歌声をホールで響かせることができました。御来場頂いた皆様、ありがとうございました。



1年A組 自由曲「チェリー」



2年A組 自由曲「創聖のアクエリオン」



3年A組 自由曲「遙か」



各クラスの指揮者、伴奏者の生徒たち

## チーズについて学びました

10月10日、3年生選択科目「フードデザイン」でチーズをテーマにした講座を行いました。これは、雪印メグミルクで行っている出前講座を活用した授業です。

世界や日本のチーズの歴史やチーズの作り方、栄養などについて講話いただき、更には9種類のチーズの食べ比べも用意されており、大変充実した講座でした。

地元大樹工場で作られているさけるチーズの紹介もあり、改めて地元にある企業について知り、大樹町の素晴らしさを感じた授業となりました。大樹工場には卒業生が勤めており、地元企業に貢献しています。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



## 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 保育園実習を実施しました

10月12日、3年生選択科目「子どもの発達と保育」にて保育園実習を行いました。これは、大樹町の認定こども園に御協力いただき実施しています。

生徒達が考えた遊びをとおして園児と交流し、子どもの発達や特徴について体験をとおして学ぶ機会となっています。

今回は、ハロウィンをテーマにして仮装をし鬼ごっこをしたり、カード合わせゲームをしました。ハロウィンの仮装は、ゴミ袋を利用して、あらかじめ用意した目や口のパーツを子供たちが自由に貼って完成させる工夫をしました。自分で完成させた「おばけ」に大盛り上がりの子供たちを見て、高校生も充実感と満足感でいっぱいでした。

実習を受け入れてくださった認定こども園の関係者の方々、お忙しい中ありがとうございました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 「おやじの会」との座談会を実施しました

10月25日、3年生選択科目「子どもの発達と保育」にて「おやじの会」の会員の方との座談会を実施しました。「おやじの会」とは、「子どもの成長をしっかりと見届けたい」、「子どもとの時間を大切にしたい」、「子どもに色々な経験をさせたい」という強い思いをもったお父さんたちで結成されている活動グループです。

毎週月曜日を活動日とし、お父さんと子どもたちで野球やサッカー、季節に合わせて川遊びや森の散策、焼き芋などたくさんの遊びを用意して楽しい時間を過ごしているそうです。

そのメンバーの方々から、活動内容はもちろん子育ての楽しさや大変さ、親としての思いや希望など、たくさんのお話を聞くことができました。生徒達からは、「子育ては母親がするものという意識がまだ強く残っているので、おやじの会の方の考え方はとても新鮮だった」「近頃は公園で遊んでいる子どもの姿を見ることが少ないので、大人と子どもが外でおもいっきり遊ぶことはとても大切なことだと感じた」など感想を述べていました。

お忙しい中、勤務を調整してくださりご来校いただきまして、誠にありがとうございました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## インターステラテクノロジーズ (IST) の工場見学、JAXA講座を実施しました

10月17日と20日、大樹町宇宙交流センター「SORA」にて、1学年を対象としたIST工場見学をJAXA講座を実施しました。

大樹町でなぜロケット開発が行われているかなどについて講義を受けた後、ロケット発射場に移動し、燃焼実験施設や実際にロケットを打ち上げる場所を見学しました。

また、JAXAから航空技術部門の富田様を招いて、衛星測位や気球実験について講義を受けました。実際に実験で使われた気球に触る機会があり、生徒からは「これで飛ばすんだ」などと驚きの声が上がっていました。

その後、JAXA実験場に移動し、格納庫を見学しました。雨天のため、飛行管制塔の見学は叶いませんでしたが、想像以上の大きさがある格納庫を見る貴重な機会でした。



## インターンシップを実施しました

11月9日・10日の2日間、1学年を対象としたインターンシップを行いました。

インターンシップ当日、巡回で訪れた事業所の方からは「元気で楽しそうにやっていますよ」などといった、明るい話しをお聞きすることができました。学校では見られない姿をたくさん見ることができ、生徒の意外な一面を知ることができました。

今後は、12月7日実施予定のインターンシップ報告会に向けて、得た知識・感じたことをまとめていきます。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



## 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 2学年台湾見学旅行報告会を実施しました

11月17日(金)、5,6時間目に「2学年見学旅行報告会」を実施しました。

台湾見学旅行での取り組みについて、各班で資料を作成し、本校体育館で報告を行いました。

「台湾に行くことができてよかった」、「海外を知ることで、普段当たり前だと思っている日本のよさを改めて実感した」、「大学生と言葉の壁を越えてたくさん交流できた」など、海外研修を経験して感じ取ったことを、生き生きと発表してくれました。

4月当初は、「海外に行くのは怖い・・・」という声もありましたが、見学旅行までにさまざまな教科を通じて事前学習として台湾について学び、自分たちの行く場所に対して真剣に調べ、学習を進めることで、少しずつクラスのまとまりを深めながら見学旅行へと気持ちを高めていくことができました。

見学旅行実施にあたり御協力をいただいたすべての方に、この場をお借りして御礼申し上げます。

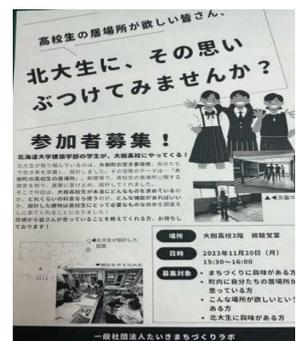


## 北海道大学建築学部の学生が来校しました

11月20日(月)15:30、北海道大学建築学部の学生が本校に来校しました。来校した学生の所属する研究室は松島准教授のスタッフと学生15名が来校しました。目的は、大樹高校生から高校生の現状や意見を聞くことでした。右の一般社団法人たいきまちづくりラボ(以下、まちづくりラボ)が作成したリーフレットで参加生徒を募集したところ、3年生は2名、1年生は2名、合計5名が本校から参加しました。

今回の北海道大学生の来校のきっかけは、3年生が実施した地域探究活動の発表会での3つの班のテーマ「大樹町の高校生の居場所づくり」が新聞報道されたことです。このことを大学生が真摯に受け止め、「高校生の居場所」を設計したとのことでした。

北海道大学建築学部と結び付けたのは、たいきまちづくりラボです。彼らは大樹町の空き家改修に取り組んでおり、本校来校前に、大樹町に出向き、模型と図面などを示したボード複数枚でプレゼンテーションをしてきたそうです。現在、大樹町の町づくりに役立つために1つの空き家の改修だけではなく、町づくりに役立つ発想とするために大樹町の課題を把握して、その解決策を提案していました。







# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 高校生による小学生への授業（小学校と高校の連携）

12月13日(水)、大樹小学校の3年生の社会の2クラスの授業で、本校3年生3名が、地域探究学習で作成した大樹町内の「キケンマップ」の取組について説明しました。

町役場に調査や提案を行ったり、町を実際に歩いて調査したり、「キケンマップ」としてまとめたものを町役場に持参して協議したり、大樹町高校生議会において、町長に危険箇所の改修とLED街灯の整備を訴え町長から危険なところから順番に整備するとの答弁をもらったしたことなどを説明しました。

児童はその後、3・4人のグループに分かれて、「キケンマップ」と高校生の説明を元に、改めて危険なところを出し合い、そのグループ協議に高校生も参加し、「キケンマップ」がさらにバージョンアップしていきました。

本校生徒は、小学生に分かりやすく説明するために準備し、説明がしっかり伝わったことも授業中に感じる事ができました。また、小学生の目線での危険な箇所がさらに追加された「キケンマップ」ができあがり、小学生と高校生の協働により、新たなものが作られた授業になりました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 生徒会が中心となって体育大会を実施しました

12月15日(金)に生徒会執行部主催の体育大会が行われました。今年の体育大会の目的は「運動の得意・不得意に関わらず、全員参加を原則に、大会を通じて学級間・学年間の親睦を深め、学校全体の団結力を高める。」でした。ミニバレーやバスケットボール、バレーボールの球技やバドミントン、ボッチャや大縄跳び、借り物競争や選抜リレーなどの運動会種目も多数行われ、全生徒が楽しむことができました。



生徒会執行部



生徒会手作りの大判かるた



生徒会手作りのボッチャ



ミニバレー





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



## 【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 冬休み期間中の高校生ミドルティーチャーに参加しました

冬休み期間中の12月25日(月)から27日(水)の午前中、大樹町教育委員会の社会教育課が企画した、自主的に登校した大樹小学校の児童の冬休みの勉強のお手伝いをする「高校生ミドルティーチャー」に、本校の杉森さん、北村さん、松橋さん、野村さん、横山さん、工藤さんの6名が参加しました。



## 「探究チャレンジTokachi」に参加しました

1月17日(水)13:00から、北海道教育委員会十勝教育局がzoomを活用して主催し、十勝管内の公立高校17校が発表する「探究チャレンジTokachi」に、本校を代表して、上田さん、松田さん、鎌田さんのグループが発表しました。



「大樹町の食を全国に広めたい」と題して、地域探究学習において坂根牧場さんの協力を得てハンバーグドックを開発するまでの検討や苦勞、歴舟川清流まつりで販売したこと、高校生議会で大樹町の食を広めるための提案したなどの取組を発表しました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 北海道科学大学の教授による出前授業を実施

1月23日(火)の5・6時間目、2学年の生物基礎の時間において、北海道科学大学の金澤教授による出前授業を行いました

カラスやロウソクの実験の動画や「アオギリ」「オオバボダイジュ」の実物による観察、リンゴやバナナなどを使った実験などを活用し、金澤教授から提示された問いに自分で考えて理由とともに仮説を立て、解説をきくというサイクルが繰り返されました。生徒は集中して授業を受けることができ、理科の見方・考え方が自然と身に付けることができたと思います。



## 卒業生講話を実施しました

1月25日(木)5時間目の3年生のフードデザインの授業において、皆さんの先輩に当たる、北海道ホテルに勤務の木戸友季栄(ゆきえ)さん(平成29年度卒業)とカレーショップインディアンに勤務の石橋亜美さん(令和2年度卒業)の2人から、卒業生として講話をしていただきました。

「今を大切に生きる」「あいさつと言葉遣いをちゃんとできるようになる」「たくさん資格を取るべき」などの3年生へのメッセージや、「前回に作ったものより、よりおいしく、よりきれいにする」「接客は簡単なようで難しい。接客が悪いと、調理をした人や食べるお客様に失礼となる」など、自立した社会人としての志が語られ、卒業を控えた3年生にとって、よい話をいただきました。

後半は、パティシエの実際のケーキ作りを実演していただき、プロの技を見ることができました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 恵方巻きを作りました

1月26日、3年生選択科目「フードデザイン」で最後の調理実習となる「恵方巻き」作りを行いました。毎年、3年生最後の調理実習は、年中行事、食文化の伝承をテーマに恵方巻き(巻き寿司)を作ります。具材として、油揚げを煮たもの、卵焼き、ほうれん草を用意し、自分の分は自分で巻いて仕上げます。コツをしっかりと学んだ生徒たちの出来映えは写真の通りです。とても上手に出来ました。

フードデザインを1年間学び、食をトータルに考え、全員が巻き寿司を作れるようになって卒業していきます。卒業後、節分では思い出して、毎年ぜひ作って欲しいものです。



## 大樹町コスモスコンサートに参加

1月27日(土)の13:30から、大樹町生涯学習センターコスモスホールにて、「大樹町教育の日協賛事業 大樹町小中高吹奏楽合同演奏会 第12回コスモスコンサート」が行われました

コスモスコンサートは、元教育長の小林氏の大樹町を「文化の香り豊かな町」にしたいという熱い思いを源に平成21年に誕生したもので、今回で12回目となります。本校の吹奏楽部も参加し、昨年10月の大樹町文化祭における演奏から、さらに上達した姿を見せてくれました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## 小学生との交流

2月3日(土)本校クッキング部による「恵方巻き作り」講座を実施しました。毎年、小学生を対象として実施しており、1年生から5年生までの参加がありました。

恵方巻きの具材は、その年の部員達が試作を重ねて決定します。今年は、包丁を使わなくても出来る恵方巻きをめざし、チーズやかにかまなどを用意しました。

まずは、高校生が巻き方のお手本を示し、その後小学生達もチャレンジしました。「あわてずにゆっくりと巻くときれいに巻けるよ」と高校生からアドバイスもらった児童達は、とても上手に仕上げていました。大人から学生へ、学生から児童へ。そして、学生が大人になり家庭を持ち、その子どもへ。こうして日本の食文化が受け継がれていくのです。



## 2学年 SDGsワークショップ

2月5日、2学年を対象に「SDGsワークショップ」を実施しました。講師として、JICA帯広の野々垣 真美さんをお迎えし、「Think Globally, Act Locally」をテーマに学びを深めました。

「SDGsの考え方の基本」を学んだ後、「それぞれの国が持つ得意」を集め、協働しながら課題解決のために行動していくことの大切さを、カードゲームを通じて考えることができました。

さらに、授業の後半では身近な大樹町の課題や魅力、さまざまな資源(ひと、もの、場所)についてアイデアを出し合いました。

今後、地域探究を通じ地域の課題に挑んでいく生徒達にとって、学びの多い時間となりました。





# 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地  
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

## そば打ち体験

2月22日(木)、1学年の科目「家庭基礎」にて、そば打ち体験授業を行いました。そば作りを体験することにより日本の食文化への理解を深めること、また、ALTのアニーさんと一緒に参加することで異文化交流もねらいの一つと設定し実施しました。

大樹そば作り研究会の方3名に講師を務めていただきました。そば粉100%で加えるのは水だけというこだわりのそば。作業の手際の良さ、美しさに感動する生徒たち。あっという間にのし麺ができあがりました。それを切るのは生徒たち。切り方を教わったものの初めて握る専用包丁の使い方に悪戦苦闘。とても太い麺ができたり……。打ちたて麺は、とてもおいしく、多めに用意した麺は足りないくらいでした。たくさんのおかわりもあり、生徒たちは大喜びでした。

最後に、そば作り研究会の説明があり、早速2名の生徒から入会の意思表示がありました。こうして日本の食文化が受け継がれていくのです。

研究会のみなさま、お忙しいところお越しいただきましてありがとうございました。



## 第74回卒業証書授与式

3月1日(金)、第74回卒業証書授与式が本校体育館で挙行されました。

保護者、来賓、在校生、教職員が見守る中、3年生23名一人ひとりに卒業証書が授与されました。

凜とした雰囲気の中、3年生は大樹高校生として立派な姿で式に臨んでいました。式歌斉唱では思わず涙を流す卒業生の様子も見られました。

最後のホームルームでは、担任、生徒から3年間で振り返り一人一言ずつ挨拶がありました。卒業生が話している姿を見て、3年間の学校生活をひたむきに送り、大きく成長したことを実感することができました。

